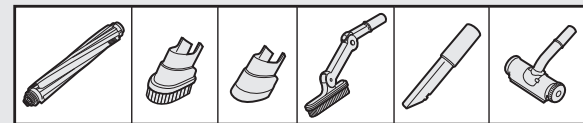


お手入れする 2

水洗いできるもの



警告

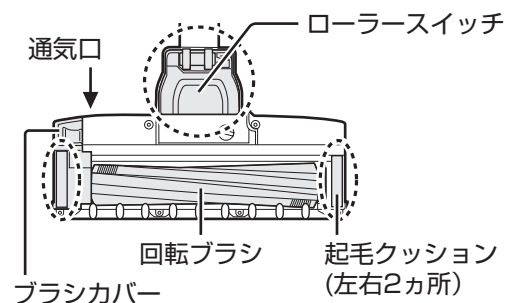
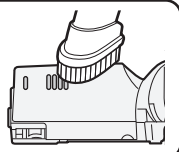
！
お手入れ時は必ず運転を停止し、
本体からバッテリーをはずす
充電器は電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

吸込口(回転ブラシ) お手入れの目安：吸引力が弱くなったり汚れが気になるとき(月1回程度)

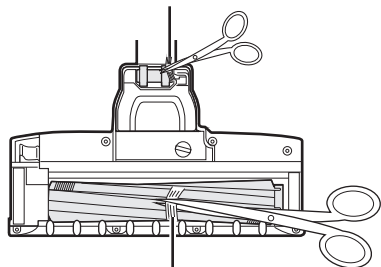
ゴミを取り除く

吸込口に付いたほこりをスグトルブラシで
吸い取り、 部からみ付いた毛・糸くず
を切り取ってから、絞った布で拭く。

通気口に付いたほこりも、
スグトルブラシで
吸い取ってください。



細かい部分についたゴミは先の細い
ハサミやピンセットなどで取り除く。



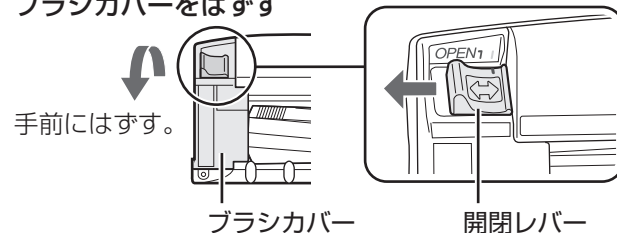
回転ブラシの溝に沿って切り取る。
(ブラシの毛先を切らない)

部が摩耗した場合は使用を中止し、
お買いあげの販売店にご相談ください。

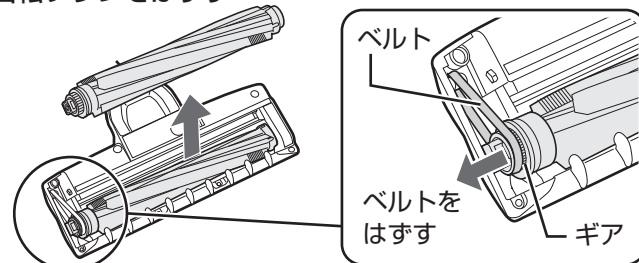
回転ブラシを水洗いする

回転ブラシをはずす

- ① 開閉レバーを「OPEN」までスライドさせ
ブラシカバーをはずす



- ② 回転ブラシを持ち上げながらベルトをギアからはずして、
回転ブラシをはずす



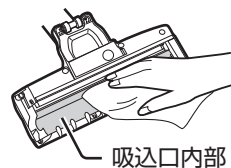
- ③ 回転ブラシを水洗いし、十分に乾かす

お願い

- 洗剤・シンナー・ベンジン類や、お湯(約40℃以上)は
使わないでください。変質や変形の原因になります。
- 水洗いした後は、水気をしっかり切り、風通しの
よい所で陰干しして、十分に乾かしてください。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。
変形や故障の原因になります。

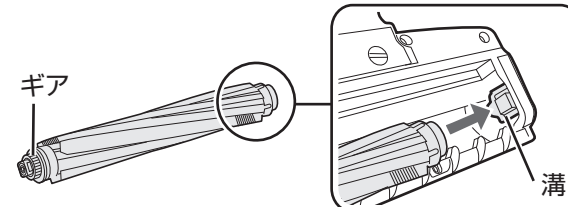
吸込口全体は水洗いできません。

吸込口内部の汚れが気になるときは、
水または薄めた中性洗剤を含ませた
布で拭き取ってください。

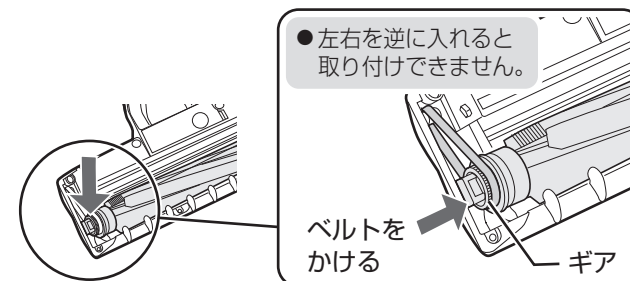


回転ブラシを取り付ける

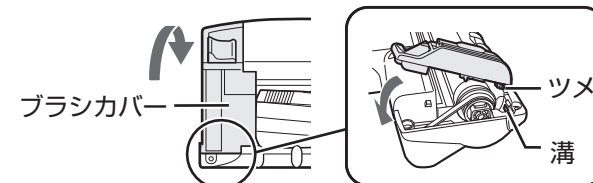
- ① 回転ブラシのギアがない方を溝の奥まで入れる



- ② 回転ブラシのギアにベルトをかけ、溝に入れる

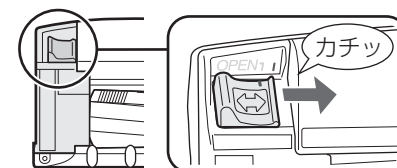


- ③ ブラシカバーのツメを溝にかけて取り付ける



- ④ 開閉レバーを矢印の方向にスライドさせる

しっかりと閉まっていることを確認する。



側面からみて
すき間が開いて
いないことを
確認する。

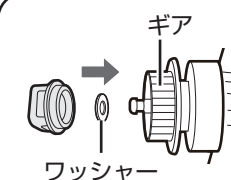
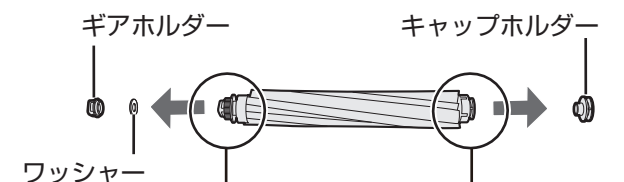


回転ブラシに毛髪などが からみ付いたときは

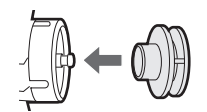
回転ブラシ両端のギアホルダー・キャップホルダー・
ワッシャーをはずして※、取り除いてください。

※平行にまっすぐはずしてください。

ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを
紛失しないよう、ご注意ください



ギアがある方に
ギアホルダー・
ワッシャーを
取り付ける。



ギアがない方に
キャップホルダーを
取り付ける。

お願い

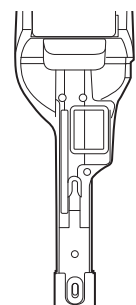
- お手入れ後は必ず、ギアホルダー・キャップホルダー・
ワッシャーを取り付けてください。
- 回転ブラシが取り付けできない場合は、ギアホルダー・
キャップホルダー・ワッシャーを正しく取り付け
ているか確認してください。

本体・付属吸込口・充電部の接点(端子) お手入れの目安：汚れが気になるとき

本体

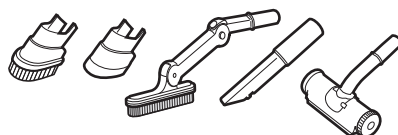
水または薄めた中性
洗剤を含ませた布で
拭き取る。
シンナー・ベンジン
類は使わないで
ください。

【変質や変形の原因】



付属吸込口

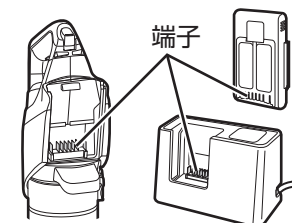
水または薄めた中性洗剤で洗う。



水洗いした後は十分に乾かして
ください。

充電部の接点(端子)

乾いた布で汚れを拭き取る。



ご注意

- 本体・充電器・
バッテリーは
水洗いできま
せん。

グリップセンサー お手入れの目安：1ヵ月に1回以上

- お掃除中にグリップセンサー部から手を離しても運転を中断しなかったり、
センサー部をにぎっても運転を再開しないときは、お手入れしてください。

市販の綿棒などで、グリップセンサー部
表面(黒)の汚れをやさしく拭き取る。

ご注意

- 水洗い・水拭きは
できません。

